

熊本地震災害派遣薬剤師・九州ブロック現地活動報告 No.8

平成 28 年 4 月 28 日

- 【派遣日程】 4月19日（火）～4月20日（水）
- 【報告者】 宮崎県 佐藤 和俊
- 【メンバー】 長友 俊綱, 佐藤 和俊
- 【派遣先】 熊本空港ホテルエミナース、広安西小学校
- 【交通状況】 4月19日（火）
- 6:10 宮崎県薬出発（佐藤運転）
- 8:05 八代 IC 降りて国道3号線北上。かなりの渋滞。一つ目のGSでガソリン入れる。（これから長友先生運転）
- 9:30 熊本市内に入る。震災の爪痕を強く感じる。
- 10:40 熊本県薬剤師会到着。
- 11:10 熊本県薬剤師会出発。
- 11:58 熊本空港ホテルエミナース到着。引き継ぎ開始。
道路はひび割れ、凹凸あり。
- 【ライフライン】 熊本市内、益城町断水状態。
熊本空港ホテルエミナースはタンク式？のために水は出る。
（飲用、うがい等不可）。
- 【活動内容】 熊本空港ホテルエミナース：広島県薬剤師会3名、山口県薬剤師会3名、
宮崎県薬剤師会1名（佐藤和俊）
JMATと近隣小学校に同行：宮崎県薬剤師会1名（長友俊綱）
救護室業務：受付
- ①来室患者3パターン（a. 医師診察 b. OTC対応 c. 相談のみ）
- a) 看護師への症状申し送り（場合によっては最初から看護師が問診）
- b) OTC在庫不足の場合には薬剤師の判断により、要処方箋薬以外の医療用医薬品を1日分のみ供給。
- c) 基本は薬剤師の判断で行う。
- ②受付表（氏名、年齢、生年月日、メモ）
- a) 処方箋が発行された場合には氏名の左欄に『✓』チェック記入。
- b) OTC（要処方箋薬以外の医療用医薬品含む）を供給する場合には相談内容、医薬品名と渡した数をメモ欄に記載。
- 炊き出し作業者のマスク、手袋の装着がない。マスクを提供、手袋装着を

アドバイス。

エミナース本部で全体ミーティング。広島県薬剤師会薬剤師が救護班代表で参加。ノロウイルス対策とエコノミー症候群対策について話す。

救護室に患者が入り始める。医師が不在のために相談やOTCでの対応をとる。

また本部ミーティングで要望していたトイレ掃除のためのタオルやバケツが入手出来たので、タオルをマジックで床用と便座用の2種類作り、広島県薬剤師会のモバイル車に積んでいたメスシリンダーで用量を測り、ペットボトルの底を利用して次亜塩素酸用の容器を作った。

トイレ清掃チームへ消毒方法指導。

エコノミー症候群を防ぐため車中泊の人を中心に問診開始。

【派遣日程】 4月21日（木）～4月22日（金）

【報告者】 福岡県 小松 公秀

【メンバー】 石川 友裕, 江藤 浩平, 小松 公秀

【派遣先】 益城町総合体育館

【活動内容】 ○21日 12:00 熊本県薬剤師会館到着

状況説明後、救護所における必要な業務の引継ぎ

- ・エコノミークラス症候群発症と予防対策の課題（資材配布済と啓発継続）
- ・水分摂取が不足してきている課題（OS-1等発注済・啓発）
- ・CO₂濃度の課題（換気悪い所あり感染症蔓延しやすい）
- ・感染症予防の課題トイレ環境・手洗い消毒の課題（協力と施設へ要望済）
- ・薬剤師会チームおよび日赤チームからも同様の課題を引継いだ

○救護所夜勤スケジュールの作成及び避難所巡回宮城県チーム・滋賀県チームの報告で翌朝OTCの払出し・器具等アルコール消毒剤払出し

○翌早朝から熱中症・エコノミークラス症候群疑い急増、定期薬切れ相談増加、診療に影響が出てきたため、ロビーにてお薬健康相談テーブルを設け赤十字館内巡回班と共同でOS-1配布、水分補給・手洗いエコノミークラス症候群予防の声掛け、館内放送など啓発開始。

OTC・健康相談・定期薬切れ相談を行った。

○22:00・7:00 定時全体ミーティング参加

<調剤> 救護所テント

調剤業務（日本赤十字 2 チーム・国立病院機構）
医薬品管理業務（受発注・在庫管理）採用薬リスト管理
かかりつけ医療機関及び薬局の状況確認
<公衆衛生> 館内・トイレ手洗い場
消毒剤の管理 次亜塩素酸水溶液調整・手指消毒薬の管理・設置
<保健> 館内・敷地内
救護所及び館内巡回時の OTC 相談、館内放送お薬健康相談テーブル対応

【派遣日程】 4月25日（月）～4月26日（火）
【報告者】 福岡県 岡村 由紀子
【メンバー】 西 真由子, 早田 佳生, 龍 大輔, 岡村 由紀子
【派遣先】 益城町総合体育館
【活動内容】 25日（月） 122人・処方有93人（AM・37/47, PM・56/75）
26日（火）AMのみ 40人・処方有30人
★24h体制 4月25日（月）～26日（火）終了
（26日夜・日赤常駐, 27日・日赤 X-P 撤去）
★全体ミーティング 7:00 と 21:00→7:00 と 20:30（26日より変更）
救護班は、1日1回 20:30のみ
★院外処方箋（熊本大学病院→益城町総合体育館 FAX）
応需不可の為、近隣の新生堂薬局益城木山店へ依頼

【派遣日程】 4月25日（月）～4月26日（火）
【報告者】 福岡県 森 康弘
【メンバー】 大場 崇, 連石 信, 森 康弘
【派遣先】 益城町総合体育館
【交通状況】 8:58 博多発臨時便→10:03 熊本着
（新幹線臨時便は27日午後から通常に戻る？）
タクシー待ち40分→熊本県薬まで15～20分渋滞有
☆南熊本駅までJR移動の方が早い
【ライフライン】 電気のみ
○被災者用
・食べ物、飲み物は充実

- ・自衛隊、ボランティア炊き出しあり
- ・お風呂もあり
- ・トイレ掃除もボランティアが行っているが、同じ靴で施設に入るので衛生面に不安あり

【活動内容】 25日 処方受付／診察：AM・37／47，PM・56／75

11:00 熊本県薬剤師会到着

12:00 熊本県薬剤師会出発→益城町総合体育館到着

13:05～21:00 小倉薬剤師会のスタッフで、調剤・投薬を担当

- ・仮設診療所宛てに熊本大学医学部附属病院より通常の院外処方がFAXされてきた。

→眼科の処方が先ずきて、新生堂薬局益城木山店に対応を依頼

→その後、泌尿器科の処方が追加で届くが、受入先を熊本大学医学部附属病院で探してもらうよう依頼

- ・日赤が持参した薬と薬剤師会で準備した薬が違ったため、継続服用している薬を途中で変更することがあった。メーカー変更もある。

21:00～1:00 深夜帯担当。21:00～22:30 は混み合う。

在庫一覧の確認をする。リスト作成。

26日 処方受付／診察：AM・30／40

7:00～ 全スタッフで調剤・投薬を担当

8:00 体育館内にてエコノミークラス症候群対策のチラシ配布

13:00 後任のスタッフに引き継ぎ

14:00 前 現地出発（大渋滞）

15:30 熊本県薬剤師会到着・あいさつ

16:00 熊本駅

26日から診療時間が9:00～22:00へ変更。

テント内の調剤業務以外に、施設内でのOTC、お薬相談、消毒薬作成、空気環境調査、騒音レベルチェックなどもある。